資料１

基本理念とご意見について

◎基本理念

1. 豊かな自然で育む健康な心とからだ

～向き合おうこころとからだの健康管理～　　　　　　　　　４名

1. 豊かな自然で育む健康な心とからだ

～１に運動、２に食事　しっかり休養　こころにゆとり～　　　４名

1. 豊かな自然で育む健康な心とからだ

～未来の健康を作る主役はあなた～　　　　　　　　　　　　　４名

◎書面会議の際のいただいたご意見

1. に賛成の方からのご意見

＊１に３の一部を加え、豊かな自然の中で育む健康な（下の健康と重複するので削る。）心とからだ

～主役はあなた向き合おうこころとからだの健康管理～というのはどうでしょうか。

②賛成の方からのご意見

＊抽象的な表現よりも、具体的な内容がある方が良いと思い、２番にしました。

＊どの案でも良いと思うのですが、主の理念の１と３のところには「健康」という語が入っているので副題には「健康」という言葉を使わなくてもよいのかなと感じました。２は健康管理に必要な具体的な内容が含まれていて分かりやすいと思います。

③賛成の方からのご意見

＊今回の検討会で強調したいことすべきことを考えた時に、健康管理の主体はご自身であるというアピールしたいので③を選びました。②については具体的でわかりやすい内容ですが、聞きなれたフレーズで訴える力は弱いでしょうか？計画を町民に知ってもらうには焦点を絞り、伝えることがポイントでしょうか。

＊教育総務課や給食センターと連携しながら、学校給食の取り組みを進める団体の立場から、ご提案です。

農林水産省の第4次食育推進基本計画（2021年〜5年間の計画）にも盛り込まれている、「学校給食における地場産物を活用した取組等を増やす（目標5）」「産地、生産者、環境に配慮した食品を選択するの国民（町民）を増やす（目標11,12）」及び、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」（2021年5月策定）にある「学校給食における有機農産物の活用」を食育計画に取り入れることを提案させていただきます。

※ご参考：

第4次食育推進基本計画

<https://www.mhlw.go.jp/content/000770380.pdf>

p.10,13,14

みどりの食料システム戦略の実現に向けた関係府省庁連携の取組

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/liaison-4.pdf

現在、町では過去の食育計画にも盛り込まれている「食の安全」や「地場産食材

を用いた食育の取り組み」に基づいて、地場産給食を進めていることと思います。

2023年度からは学期に1回「地場産デー二宮産バージョン」を実施し、1学期は夏野菜カレー、2学期は二宮の海で穫れたサバの竜田揚げ、3学期は原木しいたけの麻婆豆腐を提供しました。

2024年度の夏野菜カレーは、9軒の無農薬栽培をしている農家さん（二宮、大磯、平塚）の野菜を使用しました。取り組みはこれからも継続予定です。

全国的に有機給食の広まりはスローペースですが、二宮町の取り組みは一歩先行くものとして、近隣の市や町からも注目されています。こうした町の給食への取り組みに惹かれて二宮町に移住してきたという声も聞いています。

町がすでに取り組んでいるこうした活動を継続・拡大するためにも、

「学校給食における地場産物を活用した取組等を増やす」

「産地、生産者、環境に配慮した食品を選択する国民（町民）を増やす」

「学校給食において有機農産物を活用する」

等を方針に取り入れることは、重要なことだと考えています。

特に町として一歩先行く取り組みを行なっている『無農薬』『有機』『オーガニック』などの言葉は、町の取り組み姿勢を示すためにもぜひ入れていただきたいです。

食育をきっかけに無農薬の農業が普及することは、町民の健康はもちろんのこと、環境負荷が軽減されることで持続可能なまちづくりへもつながるはずです。

計画の骨子（案）基本目標「8 食の安全と文化の伝承」へ盛り込んでいただくのがよいのではないかと考えますが、いかがでしょうか。